

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
朝日杯フューチュリティステークス	別定	G1	阪神	芝1600m	良想定	平坦	中荒れ	C

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ヘース	総合	人気	印	結果	大駆値
1	カイザーノヴァ	池添	モーリス	ロベルト	スペシャルウィーク	サンデーサイレンス	C	C	C	C	B	C	14	△5	8	6
2	グレナディアガーズ	川田	Frankel	サドラーズウェルズ	Harlington	ミスターオブザ	C	D	C	C	C	D	7	消	1	6
3	ビゾンテノブファロ	山田	プリサイスエンド	ミスターオブザ	アドマイヤボス	サンデーサイレンス	D	D	D	C	C	D	16	消	15	1
4	ショックアクション	戸崎	Gleneagles	サドラーズウェルズ	Fastnet Rock	ディンヒル	D	C	C	B	B	C	6	△3	13	-7
5	ドゥラモンド	武豊	ドゥラメンテ	キングマンボ	Include	アックアック	B	B	D	A	C	D	5	消	7	-2
6	ブルースピリット	藤岡祐	Invincible Spirit	ダングジグ	Galileo	サドラーズウェルズ	D	C	B	D	C	C	13	×	5	8
7	ステラヴェローチェ	横山典	バゴ	ブラッシンググルーム	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	B	B	A	A	B	B	2	▲	2	0
8	レッドベルオーブ	福永	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	Unbridled s Song	ミスターオブザ	A	A	A	A	B	A	1	○	3	-2
9	デーオーダヴィンチ	浜中	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Sea of Secrets	ストームキャット	B	C	D	C	D	D	15	消	16	-1
10	アスコルターレ	北村友	ドゥラメンテ	キングマンボ	Danehill Dancer	ディンヒル	B	C	D	C	D	D	10	消	14	-4
11	バスラットレオン	坂井	キズナ	サンデーサイレンス	New Approach	サドラーズウェルズ	B	B	B	D	C	B	8	△1	4	4
12	ジュンブルースカイ	岩田康	ドゥラメンテ	キングマンボ	ゼンノロブロイ	サンデーサイレンス	C	D	C	C	C	C	12	×	12	0
13	ホウオウアマゾン	松山	キングカメハメハ	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	B	A	A	B	A	A	3	◎	9	-6
14	モントライゼ	ルメール	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Nayef	ミスターオブザ	B	C	B	C	C	C	4	△4	10	-6
15	ロードマックス	岩田望	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	Dubawi	ミスターオブザ	A	B	C	C	B	B	11	△2	6	5
16	スーパードープ	Mデムーロ	キズナ	サンデーサイレンス	Kendargent	グレイソヴリン	B	C	B	B	C	C	9	☆	11	-2

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
阪神JFに続いて行われる2歳牡馬のチャンピオン決定戦。クラシックに直結する牝馬G1とは違い、クラシックでは問われないマイラー適性が問われるレースで、しかも同時期にホープフルステークスができるために中距離の一線級も出走してこない。近年はより早く完成するマイラー同士のガチンコ勝負のイメージが強くなった。今年もそんなイメージに該当する馬から狙ってみたい。
本命は地味ながら能力高そうなお ホウオウアマゾン が面白そう。レースを使うごとに力をつけている感じで、とにかくレースセンスが抜群で荒れ馬場を全く苦にしないタイプ。野路菊Sはペースに恵まれての逃げ切り勝ちだったが、前走のデイリー杯は高速馬場も高速決着も合わなそうなのにレッドの2着に大健闘。本質的には荒れ馬場の根性勝負の方が得意そうだし、今の阪神の馬場ならレッドを逆転できていいように思います。
REVIEW
ルメール騎乗のモントライゼがもう行ってしまえという感じでぶっ放す展開。昨年同様のハイペースの展開となったが、昨年ほどには後続がついていかなかったために2番手以下はミドルペースだったか。好位から完璧に抜け出してきたグレナディアガーズが未勝利勝ちの身からいきなりG1を勝利。走破時計1:32:3というのも見た目通りに圧巻ですし、相当なハイレベル戦だったと見ていいか。

※文字色の意味2020/12/20

赤…GOOD妙味大な馬 - 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

血統
阪神マイルはディーブインパクト産駒がベタに走る舞台。その他でもベタなクラシック血統がよく走るレースだ。
適性
短距離志向の馬が多く出走してくるのでペースはある程度流れる。ペース云々ではなく強い差し馬がしっかり差し込んでくる傾向。
データ
○1番人気 (4-2-1-3) ×間隔中3週以内で当日10番人気以下 (0-0-0-30) ○美浦 (6-5-4-28) 14.0% 25.6% 34.9% ×関東馬で当日10番人気以下 (0-0-0-13) ○前走サウジアラビアRC (2-1-1-3) ×前走OF特別だった馬で当日4番人気以下 (0-0-0-20) ×前走0.6秒以上負けで当日5番人気以下 (0-0-0-32) ○前走1600m (8-3-6-35) 15.4% 21.2% 32.7%
ペース
ブルースピリットが枠なりに逃げそう。前走ペースを考えてもそこそこ飛ばしそうで淀みない流れになるか。持久力に優れたタイプに展開は向きそう。
危険な馬
ドゥラモンド=デビューから2戦はかなり弱い相手に勝利。時計を見ても全く評価できませんし、普通ならば買える要素はゼロ。前走はスローペースで加速ラップをノーステッキで走っているの上積みがあるかもしれませんが、イーシューバンスー程度に最後に詰め寄られている点を見ても底は見えたか
妙味大な馬
ホウオウアマゾン=レースを使うごとに力をつけている感じで、とにかくレースセンスが抜群で荒れ馬場を全く苦にしないタイプ。野路菊Sはペースに恵まれての逃げ切り勝ちだったが、前走のデイリー杯は高速馬場も高速決着も合わなそうなのにレッドの2着に大健闘。本質的には荒れ馬場の根性勝負の方が得意そう。
穴馬
ロードマックス=デビューから2戦ではキレないディーブインパクト産駒というイメージだったが、前走の京王杯2歳Sではじっくり溜める競馬で弾けて2着に好走。外差し馬場には恵まれたが、それ以上に溜める競馬で変わった感じで、やはりこの馬はディーブインパクト産駒という感じ。
タイム
上3F
下3F
1:32:03
33.7
35.4
ラップタイム
12.5 - 10.4 - 10.8 - 11.5 - 11.7 - 11.6 - 11.8 - 12.0

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	カイザーノヴァ	池添	△5	C	14	マイル前後の距離ならば相当に強いだろうラヴケリーをクローバー賞で大外ぶんと差し切っているような馬。前走のディリー杯2歳Sは超高速馬場で慣れない先行策を打ったために走れなかった感じが、今回は溜めそうな池添騎手も良さそうだし、荒れ馬場不問なのでこの枠もプラスにできる馬なはず。大穴で期待したい。	8	後方で脚を溜めて最後は差し込んできた。いかにもモーリス産駒のマイラーという感じで、もっとスタミナやタフさを問われるマイル戦でこそ。普通に重賞でも通用するので覚えておきたい。
2	グレナディアガーズ	川田	消	D	7	前走内容は圧巻だったが、レッドベルオーブの未勝利を見る限り距離に限界はありそう。かなり前向きなタイプの馬でベスト条件は芝1400mだろう。厩舎や騎手次第でマイルも持ちそうなのはさすが、中内田厩舎で川田騎手となると前向きすぎて距離はもたないだろう。	1	2走前のレースぶりからマイルは無理と見ていたが、馬というのは変わるものだ。時計から見てもう文句なしに評価していいが、今回は1400m向きなマイル戦だったのは事実。スタミナが問われてどうか。
3	ビゾンテノ ブファロ	山田	消	D	16	現代競馬ではなかなか見ないサンエイサンキューのようなローテーションで使われている馬。もうこの使い方から見て馬を成長させたかったり大きなところを取りたい意思はなさそうで、単純に馬主の利益最優先の起用法だろう。今回も入着賞金狙いだ。	15	もうオーナーとしては馬の成長よりも多くに出走して稼ぎたいんだろう。自己条件の1400mなら勝負になると思うが、この使い方をして馬にガタが来ないか。
4	ショックアクション	戸崎	△3	C	6	デビュー戦は1400mで先行して脚が溜まらなかった。マイル戦で脚を溜めたここ2戦のパフォーマンスは非常に優秀でし、普通に強いマイラーと見ていいだろう。ただ、サドラーズウェルズ系のグレンイーグルス産駒でここ2戦は馬場悪化が味方していたはず。今回は阪神マイルの良馬場となるとどうだろう。	13	勝ち馬の直後を追走していたが全く伸びず。この血統だけに時計勝負は厳しかったのと、中間に一頓挫あった部分が響いたか。
5	ドウラモンド	武豊	消	D	5	デビューから2戦はかなり弱い相手に勝利。時計を見てても全く評価できませんし、普通ならば買える要素はゼロ。前走はスローペースで加速ラップをノーステッキで走っているの上積みがあるかもしれないませんが、イルシヴァンサー程度に最後に詰め寄られている点を見ても底は見えたか。ノーザンファーム生産のシルクレーシング所属馬という点は怖い、ここでは厳しいと見ます。	7	ここ2戦とは全く違う相手と展開でこれだけ走れば上出来。まだまだこれからこの馬という感じがしますし、この馬もマイル前後の重賞で面白い馬になっていくか。
6	ブルースピリット	藤岡祐	×	C	13	前走は芝1400mでハイペースの逃げを打ってそのまま押し切る強い競馬。いかにも中内田厩舎の早熟短距離馬という感じで、まあ距離は普通に考えて長いだろう。ただ、前走のパフォーマンスは想像以上に強いと思いますし、この枠ならば単騎逃げも可能に見えるので全く人気がないなら抑えておいてもいいか。	5	実質2番手からミドルペース逃げのような感じになり、最後は惜しいところまで持てた。マイルもギリギリこなしそう。1400m以下なら相当に強い馬じゃないだろうか。
7	ステラヴェローチェ	横山典	▲	B	2	父がバゴで母父がディープインパクトといういかにも大物感溢れる血統背景。前走のサウジアラビアRCは道悪適性が向いたと思うが、ただ単純に能力が抜け切っている感じが。良馬場でどこまでキレるかはやってみなければわからない部分があるが、ここもあっさりと突破して世代最上位の能力を証明する可能性は十分にあると見ています。	2	じっくり溜めて直線で末脚を爆発させた。他の上位2頭に比べて適性がズレていたように思いますし、この馬は地力だけで上位にまかせ。クラシックの中心として期待してもいいんじゃないだろうか。
8	レッドベルオーブ	福永	○	A	1	ディープインパクト産駒が走りやすい阪神マイルの舞台で、現時点で見せているパフォーマンスが最上位となれば1番人気になるのも当然。普通に能力を発揮すればここもあっさりと勝つていいと思うが、やはりここ2戦で折り合い面の不安を見せている点は気になる。まあそれでも競上は今最も信頼できる福永騎手ですし、特に嫌う必要はないだろう。対抗評価でいいはず。	3	今回も力んで折り合いを欠いて最後は伸びあぐねた。これ以上あんまり成長しなさそうな感じもしますし、使える条件が限られてきそうなのもネックだろう。
9	デーオーダヴィンチ	浜中	消	D	15	未勝利勝ちの時計こそ微妙だが、いかにも相手なりに走るダイワメジャー産駒という感じで昇級でも通用するという評価。ただ、その昇級というのが次にGIというのは予想しておらず、さすがに今回のメンバー相手では厳しいような感じがします。	16	スタートで煽ったものもあるが、ペースが速すぎて全く追走できず。今回は完全に力負けだろう。自己条件で力をつけていきたい。
10	アスコルターレ	北村友	消	D	10	デビュー戦はなかなかのハイレベルなメンバー相手に勝利したが、そこからの成長度や上積みが疑問。じりじりしか伸びない感じがですし、前走のもしみSでは最後の上がりがかかった上でヒトヨギリやジャカラランダレーンと同じ程度のレースぶりでは今回の相手では厳しいんじゃないだろうか。	14	出遅れたが後方で何もできずに終わった。能力差を痛感するようなレースぶりだった。距離は1400mまでか。
11	バスラットレオン	坂井	△1	B	8	この馬のハイライトとはとにかく札幌2歳ステークスの3着。ハイペースで完全に展開が向かない中で最後まで粘って3着に走りまし、その時の1,2着馬が阪神JFで好走したのを見て能力は間違いなく高いはず。前走は距離が長かったのが敗因でしようし、今回はマイルでどれだけやるかですが、初戦のようなキレを溜めて引き出せれば十分に一発あるだろう。	4	札幌2歳S3着の実績はダテではなかった。距離は1800mまでが決め手には欠けるのでマイルでも相手や条件次第。ベストはコーナー4回の1800mあたりだろう。スプリングSあたりを勝ちそう。
12	ジュンブルースカイ	岩田康	×	C	12	能力的にはここでも当然通用すると思うが、血統や友道厩舎という点を見てもスタミナを活かしてこその中距離馬という感じ。前走から距離が伸びてこそ良さそうだが、マイルへの距離短縮は微妙そうで、この条件では位置を落としてスピード負けして終わるんじゃないだろうか。	12	この血統で友道厩舎ならマイラーであるはずがない。オーナー主導でここを使っただけで、本来は長い距離でその馬。クラシック路線でもトライアル戦あたりでは侮れない一頭だと思います。
13	ホウオウアマゾン	松山	◎	A	3	レースを使うごとに力をつけている感じで、とにかくレースセンスが抜群で荒れ馬場を全く苦にしないタイプ。野路菊Sはペースに恵まれての逃げ切り勝ちだったが、前走のディリー杯は高速馬場も高速決着も合わないようなのにレッドの2着に大健闘。本質的には荒れ馬場の根性勝負の方が得意そうだし、今の阪神の馬場ならレッドを逆転できてもいいように思います。	9	若干スタートで後手を踏んでスムーズな競馬ができず。ルメールが変な競馬をした事で持ち味の持続力を活かせなかった。まあ最終的には力負けだろう。
14	モントライゼ	ルメール	△4	C	4	いかにもな早期活躍型のダイワメジャー産駒で、近年の朝日杯FSの傾向からもうこういうタイプの馬はよく走ってくる。今回は距離延長と流みない流れに対応できるかがポイントですが、まあルメールですしそこその評価はしておいてもいいんじゃないでしょうか。	10	ルメールらしくないおかしなハイペース逃げ。1400m通過1'20:3なんていうペースで残り200mまでは先頭なんだから1400m以下では相当に強いだろう。
15	ロードマックス	岩田望	△2	B	11	デビューから2戦ではキレイないディープインパクト産駒というイメージだったが、前走の京王杯2歳Sではじっくり溜める競馬で弾けて2着に好走。外差し馬場には恵まれたが、それ以上に溜める競馬で変わった感じで、やはりこの馬はディープインパクト産駒という感じ。同配合のリバティハイツに似たパワー型の差し馬に見えますし、ペース流れれば最後は外差し突っ込んでくるか。	6	後方で脚を溜めて最後はじわじわと差し込んできた。本当にリバティハイツとイメージが被る馬なので、ナタの切れ味で足りるようなレースでは面白そう。
16	スーパーホープ	Mデムーロ	★	C	9	未勝利を勝つまでに時間はかかったが、使われつつ地力を強化してきた感じ。未勝利勝ちが外差し馬場の1400mで完全に恵まれた感じがあったので前走はどうかと見ていたが、レコード決着の3着に走ったのならば評価できそう。ただ、本質的にはベスト条件は1400mな感じがしますし、今回はGIの舞台でマイル戦でどこまで走れるだろうか。	11	前走はそれだけ超高速馬場だったということとか。ほとんど伸びずに終わってしまった。やはり距離は1400mまでがいいように思います。